

文部科学大臣殿

日本ユネスコ国内委員会会長殿

舞鶴引揚記念館 所蔵品 ユネスコ世界記憶遺産登録を応援します

舞鶴市は戦後13年間にわたり、引き揚げのまちとして大陸やシベリアから引き揚げてこられた方々を暖かく迎え入れました。

当時の舞鶴市民の皆さんは戦後の自分達の苦しい生活を顧みず、出迎えに、湯茶の接待に、慰問にと全市民をあげての取り組みでした。

着の身、着のままで引き揚げられた方々の再出発の地ここ「舞鶴」。当時の思い出の品々が舞鶴引揚記念館に寄贈されております。

私達は先人の残した「思いやりと優しさ」の精神と行動をここに再認識するとともに、この品々の「ユネスコ世界記憶遺産登録」申請を署名活動を通じて応援するものです。

「舞鶴引揚記念館資料のユネスコ世界記憶遺産登録を応援する会」 発起人一同



日の丸を振って出迎える子供たち



白樺の樹皮に書かれた日記



栈橋で出迎える人々

(発起人)

舞鶴自治連・区長連絡協議会	舞鶴市老人クラブ連合会	舞鶴ユネスコ協会
NPO法人ガバナンス舞鶴	事務局：NPO法人舞鶴・引揚語りの会 担当☎090-2016-7947(谷口)	

*ユネスコ記憶遺産とは、世界の重要な記憶遺産の保護と振興を目的に1992年から開始されました。文書や書物などの記録史料が対象となり主なものには、「アンネ・フランクの日記」「ベートーベンの手書きの楽譜」などがあります。

私は上記趣旨に賛同いたします。

* ご記入いただいた氏名・住所は署名簿提出以外には使用しません。

* 一人1回限り、年齢、国籍を問わずどなたでも署名できます。

* 「鉛筆書き不可」「同上・〃」は無効となります。

	お名前	ご住所
1		
2		
3		
4		
5		